

当選と就任のあいさつ

話し手は、聞き手との間に距離をおかず、親しい気持を育て、心の交流をふかめてゆくことが大切です。話し手の位置は、なるべく聞き手に近く、聞き手との距離が遠のくと、心も遠のくことにしばしばなりがちです。

壇上で話をするときは、壇の中央に立ち、前列の人の左右も十分にみられるような、ゆとりのある位置に立ってから話しはじめましょう。

感謝と喜びと期待を

当選のあいさつは、激しい選挙戦をたたかいぬきやっとわが手に勝利を得て、祝うほうも祝われるほうも喜びが大きく、興奮状態にありますから、そういう雰囲気まきこまれて、その場かぎりの約束や、実行不可能な大言壮語をはかないように、くれぐれも注意をします。まず選挙に直接、間接に協力いただいた人に感謝の言葉をのべ、当選を機会に新たな決意で進みたいと所感をのべます。就任のあいさつは、当選後の具体化した場でのあいさつになりますが、やはり誇張した表現はさけて、自分の所信を周囲の人に知ってもらえるよう、自己紹介をかねて、抱負、期待を率直に語ります。

当選祝賀会の司会は

司会者の心得

- 1 適当に礼儀を正しくし、決してハメをはずさないように注意する。
- 2 公職選挙では、当選祝賀会も取締りの対象になっていることを心得、内輪のお祝いにも気を配ることが必要です。
- 3 喜びの雰囲気を盛り上げるように、出席者全員に心を配ります。

祝賀会の順序

- 1 開会のあいさつ
- 2 選挙事務長のあいさつ
- 3 当選者の謝辞
- 4 乾杯
- 5 来賓の祝辞
- 6 祝電披露
- 7 余興